

両日開催

2006

「共和の心をついに」

すみれ祭



10/28土・29日

AM 10:00 OPEN!



皆様のご来場を
心よりお待ちしております。

●高校生の皆さんへ●

「シティライフ学部」入試相談会同時開催



UTSUNOMIYA KYOWA UNIV. 宇都宮共和大学
シティライフ学部

宇都宮シティキャンパス 栃木県宇都宮市大通り1丁目3番18号
TEL 028-650-6611 FAX 028-650-6612
URL <http://www.kyowa-u.ac.jp> e-mail nyuh@kyowa-u.ac.jp

●大学祭実行委員会のホームページ
http://www.geocities.co.jp/uku_festa/



まちなかゼミ展示・発表
まちづくりゲーム
NPO、NGO展示
大道芸
模擬店・共和巻狩鍋
RCC展示
インターネットラジオ

10/29日

公開講座

西山昭彦氏のセカンドライフ講座

10:00～12:30

留学生スピーチ大会

10:00～12:00

コンサート

本学グリークラブ
(コール・ツェルビーノ)

12:00～12:30

倉沢大樹エレクトーンライブ

12:30～13:30

バンド・DJライブ

13:30～17:00

10/28土

オープニングセレモニー

10:00

インターネットカラオケ

11:00～14:00

ゴスペル

(ブラウン・プレスト・ヴォイス)

12:00～13:00

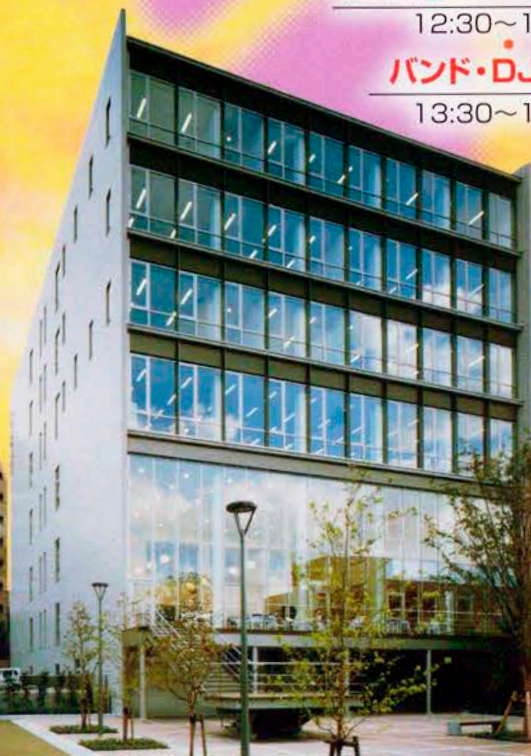
宇都宮市商工会議所 ジャズ
(アーティストック・ジャズ・ワークショップ)

15:00～/16:15～

公開講座

ヒマラヤに学校を建てた!

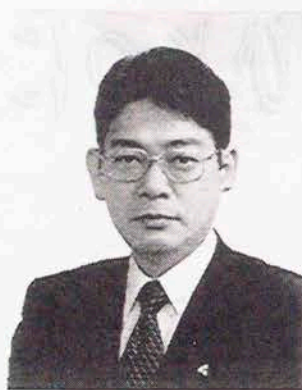
13:00～14:30



都市型キャンパス初の宇都宮共和大学祭によせて

—「市民の社会生活」を見つめ、「人間創造」に向けて—

学 長 須 賀 英 之



全学を挙げての第8回大学祭が、新しい宇都宮シティキャンパスで盛大に行われますことをたいへん嬉しく思います。今日を迎えることができましたのも、大学祭実行委員会の学生諸君の情熱に満ちた努力はもちろん、地域の皆さまや関係者の方々の温かい励ましとご協力があったからこそ、紙上をお借りして深く感謝申し上げます。

本学は本年4月から宇都宮共和大学シティライフ学部として、教育研究をさらに充実させるために宇都宮シティキャンパスを開設し、那須キャンパスとのツインキャンパス体制で、学際的な社会生活科学を探究しております。

宇都宮シティキャンパスでの初の大学祭開催を記念して、学生は大学祭を「すみれ祭」と名づけました。堇（すみれ）は明治期、学校法人須賀学園の草創時から伝統のシンボルマークです。すみれは、厳寒に耐えて滋養を蓄え、早春、真っ先に花をつけます。学生が社会に羽ばたく直前の、貴重な4年間の新たな人生への幕開けにふさわしい象徴とも言えます。「共和の精神」を発揮して大学祭の企画・実施を行い、達成感と連帯感を共有した瞬間に、すみれは凛として花開くことでしょう。

学生たちは、先輩から引き継いだ恒例のプログラムやシティキャンパス独自の催し物などを、日ごろの勉学と同じくらの熱心さで取り組んでまいりました。また、本学の教育内容の一端をご紹介します「まちなかゼミナール」の発表・展示や大学付属機関である都市経済研究センター主催のシンポジウムなど、アカデミックなプログラムも数多く用意されています。

ご来場の皆さまには、明るく元気で活発な本学学生とともに、都市型キャンパスで楽しいひとときをお過ごしいただき、学生との交流の機会をたくさん作っていただけたら幸いに存じます。

私たちは、常に、グローバルな視野に立ち、地域を見つめ、市民生活を見つめ、人を見つめて時代の先端に行く大学を目指しています。この大学祭が本学第2幕への、楽しくも力強いプロローグとなりますことを念願してやみません。

おわりに、大学祭開催のためにご尽力いただいた多くの皆さまと教職員に対しまして改めて感謝申し上げ、ご挨拶といたします。

共和の心(ハート)をひとつに

大学祭実行委員長 鈴木 祐介



本日は宇都宮共和大学「すみれ祭」に御来場頂き、誠に有り難うございます。

今年度の大学祭は宇都宮共和大学として、初の大学祭となります。また、宇都宮共和大学としての新たな始まりです。今年度のテーマは

「一共和の心をひとつに」です。宇都宮共和大学宇都宮シティキャンパスと那須キャンパスの心をひとつにし、今後の発展を願うという意味を含め、このようなテーマとなりました。日本人学生、留学生、またこの大学に関わる全ての人たちが接しあい、協力しあうことで成り立つのがこの大学祭だと思います。また、この大学祭にお越し頂いた皆様の、自然とあふれる喜びや笑顔こそが私たちの励みとなり、大学祭の成功をより一層実感することとなると思います。

最後になりましたが、宇都宮共和大学の大学祭を開催するにあたり、ご指導、ご協力を頂いた地域の皆様、後援会の皆様、本学教職員、学生、全ての皆様に厚く申し上げます。本当に有り難うございます。

平成18年度 宇都宮共和国大学 すみれ祭
1日目 10月28日(土)

[illegible]

平成18年度 宇都宮共和国 すみれ祭
2日目 10月29日(日)

	7階						6階								5階						4階		3階		2階		1階		屋外																							
			ゼミ室・応接室				講義室 601		講義室 602		講義室 603		講義室 604		P C教室 605		講義室 501		講義室 502		講義室 503		講義室 504		ゼミ室 505		他のゼミ室		講義室 401		講義室 402		図書室		学生ホール		学生ホール		学生ホール		メディアセンター		エントランスホール		受付カウンター		応接室		学生広場		大通り側コリドー	
10:00																																																				
11:00																																																				
12:00																																																				
13:00																																																				
14:00																																																				
15:00																																																				
16:00																																																				
17:00																																																				

ジャグラー ペッパーゼロ



10月28日(土)

10:30~/11:30~/13:00~

会場：？(変幻自在のパフォーマンスショー)

マジシャン マグラ



10月29日(日)

10:30~/11:50~/13:30~

会場：？(あなたの隣に現れるかも…)

BROWN BLESSED VOICE

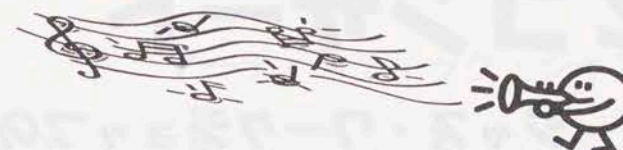


10月28日(土)

12:00~13:00

会場：1階 エントランスホール

ファンファーレ



当学園の系列校である
宇都宮短期大学附属高等学校の生徒が、
トランペットでファンファーレを
行います。



10月28日(土)

13:00~13:30

会場：1階 エントランスホール



こどもあそびランド

当学園の系列校である宇都宮短期大学の
有志学生が、すみれ祭に友情出演(!?)

お子様も十分にお楽しみいただけます!(^)!
〈輪投げ・ボールダーツなど〉



10月28日(土) 13:30~15:00

29日(日) 10:00~15:00

会場：2階 学生ホール(変更の場合あり)

宇都宮共和国大学祭

Asian Architecture Friendship Exhibition
AAFのNGO活動展 —ヒマラヤの学校建設
すみれ祭

特別講演会

2006年10月28日(土)
13:00~14:30

『ヒマラヤに学校を建てた！』
建築家のボランティア奮闘記

2006年10月

宇都宮共和国大学都市経済研究センター

宇都宮共和国大学祭 特別講演会[10/28(土)]ご案内 「ヒマラヤに学校を建てた！—建築家のボランティア奮闘記」

「フィリム」はネパールの北部、ヒマラヤ山麓の小さな村で、周辺の9つの県のほぼ中央に位置しています。人口は約800人。車の通れる道路のある村まで歩いて4日かかります。下水はもちろん、電気も電話もありません。

日本人の建築家が初めてフィリムを訪れた1999年の時点で村人の約85%が読み書きができず、子供たちが学校に通っている割合は約36%でした。40年前にできた小学校は崖崩れで通学できなくなり廃校状態で、今ある小学校も屋根が崩れていて、ほとんど使われておらず、野原で先生を囲んで授業を受けている状態でした。近県にも高校・中学校がありません。

彼らは、この地域の学校問題を研究しているネパール人大学生から情報を得て調査に着手し、NGO(AAF=Asian Architecture Friendship)を立ち上げました。そして、フィリムに小学校5教室・中学校3教室および高校2教室と図書室・科学実験室(1期工事)などの建設を計画しました。中学校と高校はフィリムの村だけでなく、周辺の9つの県の子供たちをも対象にしたものです。村人と自分たち自身の手による学校建設を目指し敷地の実測から、設計、建築材料の調査、見積、建設資金のための募金活動にいたるまで、一歩ずつ確実に計画を進め、2003年4月、無事1期工事が竣工しました。また、2004年4月奨学金制度も創設しました。現在2期工事として、遠くの村からの子供たちと先生のために寄宿舎と食堂棟を計画中です。

これらのすばらしい国際的なボランティア活動を、その中心として取りまとめられた赤尾建蔵氏にお越しいただき、本学の大学祭にて、ご講演とパネル展示を行います。市民レベルでの国際貢献や環境共生のまちづくりを考える機会となれば幸いです。多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

記

1. 日 時 2006年10月28日(土) 午後1時00分~2時30分
2. 場 所 宇都宮共和国大学 宇都宮シティキャンパス
(宇都宮市大通り1丁目3番18号 JR宇都宮駅より徒歩5分)
(公共交通機関をご利用ください。)
3. 講 師 AAF(NGO=Asian Architecture Friendship)
代表 赤尾 建蔵 氏(竹中大工道具館館長)
4. 主 催 宇都宮共和国大学 都市経済研究センター
5. 後 援 栃木県教育委員会、栃木県国際交流協会、宇都宮市教育委員会、(株)竹中工務店
6. お 申 込 み 電話・FAX・E-mailで、お申し込みください。
宇都宮共和国大学都市経済研究センター
電話 028-650-6611 FAX 028-650-6612
E-mail rcenter@kyowa-u.ac.jp

宇都宮共和大学 大学祭
シティライフ学シンポジウム【10/29(日)】ご案内

1. テーマ 「豊かなセカンドライフの実現に向けて」

間もなく、団塊世代が大量退職時期を迎える。この世代が定年後のセカンドライフをどのように過ごすかは、これからの社会の有り様を大きく規定することになる。

また、団塊世代に続く世代にとっても定年後の長いセカンドライフを見据えて、今から準備を着実に準備を進めていく必要がある。

本シンポジウムでは、豊かなシティライフを送るために、どのようなセカンドライフを選択すべきか、また、その目的や準備をどのように進めていくべきかについて考える。

2. 日 時 平成18年10月29日(日) 午前10時00分～12時30分 受付9時30分

3. 会 場 宇都宮共和大学 宇都宮シティキャンパス
宇都宮市大通り1丁目3番18号(JR宇都宮駅西口から徒歩5分、公共交通機関をご利用ください。)

4. 参加費 無料

5. 次 第

(1) 基調講演 「団塊の行方とセカンドライフ」 10:05～11:05

西山経営研究所所長 西山 昭彦氏

【プロフィール】 一橋大学社会学部卒業、東京ガス株式会社入社。ロンドン大学大学院政治経済学科に留学。ハーバード大学政治学大学院に留学し修士課程修了。財団法人中東経済研究所に出身、社内ベンチャーとして新会社アーバンクラブを設立し取締役、法政大学大学院社会科学部研究科博士後期課程修了、経営学博士。東京ガス都市生活研究所所長を経て、2004年度より会社初の個人研究所制度で、西山経営研究所を設立。東京女学館大学国際教養学部教授。

【主な著書】 『本気で始める大人の勉強法』(中経出版)、『知的仕事人のための論文の書き方』(東洋経済新報社)など多数。

(2) パネルディスカッション 「セカンドライフの充実に向けて」 11:20～12:30

パネルディスカッションでは、定年後に活躍している事例を示すとともに、現役世代において心がけるべきことについて議論する。まちづくりに、定年後のマンパワーが有効であること、豊かなセカンドライフを過ごすことは現役時からの心がけ次第で十分に可能であること、定年間際になってからではなく40代から様々な取り組みを行っておくことが重要であること、などについて議論を展開する。

西山 昭彦氏

須 藤 稔 宇都宮共和大学シティライフ学部教授
(前栃木県教育委員会教育次長)

佐 藤 滋 一 宇都宮共和大学シティライフ学部助教授
(宇都宮共和大学都市経済研究センター運営委員長)

6. 主 催 宇都宮共和大学 都市経済研究センター

7. 後 援 栃木県、宇都宮市、(社)栃木県経済同友会、宇都宮商工会議所 東京ガス(株)
(予定)

8. お申込み 電話・FAX・E-mailで、お申し込みください。

宇都宮共和大学都市経済研究センター

電話 028-650-6611 FAX 028-650-6612

E-mail rccenter@kyowa-u.ac.jp

留学生による日本語スピーチコンテスト

今年も大学祭イベントとして、留学生による日本語スピーチコンテストが開催されます。

スピーチのテーマは「日本で不思議に思ったこと」です。留学生が日本に来たときに受けた戸惑いを紹介し、それぞれが経験した文化交流の過程を表現します。日本のみなさんには留学生の視点を通して考えることにより、日本理解を深めることができるかもしれません。

審査の間には中国内モンゴルの文化紹介コーナーを開催する予定です。

日 時/10月29日(日)

10:00～12:00

場 所/講義室604